

# 2017年度全日本総会・及び2018年度第1回理事会

1. 日時：2018年3月4日（日）14：30～

2. 会場：日本体育大学 世田谷キャンパス

3. 出席者：会長 市川 伊三夫  
副会長 山本 章雄、菅野 健、福田 順一  
理事長 高野 和弘  
副理事長 浅井 正仁、出居 綏子、山内 茂夫  
常任理事 遠藤 俊郎、鹿島 孝之、加治 健男、滝澤維世嗣、積山 和明、  
黒田 進、横沢 民男、渡辺 剛、天野 永揮  
理事 秋峰 良二、小坂 直人、黒田 謙二、三浦 累美、山下 仁、  
米沢 利広、布村 忠弘、櫻井 貴志  
監事 古田 善彦  
運営理事 大中 明子、加藤 敬夫、木下 健、長谷川直人  
学生理事 太田尻紗也香、黒須 愛美、松浦 悠、徳永 光輝、寺島 紗希、  
鈴木 伶奈、保科 凌介、泉野明日香、鈴木 智士、波多野 充、  
西井 麻奈、野村周一郎、望月 隆司、川本 喬之、栗栖 将吾、  
前田 晃宏  
陪席者 齊藤 拓実、高橋 瑠美、中川 皓太、吉田 幸恵、松田 侑女、  
田村 友季、佐久間 絢菜、山田 凜、大西 郁、杉山 健太、  
山本 聖也、濱淵 桃、有賀 菜央、九富 鴻平、二宮 正夫、  
武藤 祐也、鳥巢 明亜、小室絵美子、井上 瑠花、手塚 莉菜、  
河上 碧海、及川 紗季  
文責者 横井 千紘

・議決権を持つ役員42名 出席者34名 委任7名 （過半数を超えたため理事会成立）

4. 議長：高野 和弘

5. 議題：① 2017年度事業報告  
② 2017年度一般会計について  
③ ミキブルーンスーパーカレッジバレー2017決算について  
④ 各学連・委員会提示事項  
⑤ 2018年度役員一覧  
⑥ 2018年度学生役員改選  
⑦ 2018年度事業計画  
⑧ 強化事業計画  
⑨ 2018年度全日本大学ビーチバレーボール男女選手権大会  
⑩ 2018年度予算案  
⑪ 2017・2018年度全日本事業開催日程  
⑫ その他

6. 議事内容

- ① 2017年度事業報告
- ・ミキブルーンスーパーカレッジバレー2017の大会報告について説明があった。
  - ・2017年度事業報告について、各学連から説明があった。
  - ・事業報告書の形式について関東理事会で検討されていた縦型冊子に変更する提案が承認された。
  - ・科学研究委員会報告書について説明があった。
- ② 2017年度一般会計について
- ・2017年度一般会計について説明があった。
  - ・2017年度分のDAZNの広告収入が2018年度の全日本インカレの予算に組み込まれるとの説明があった。

- ・支出の部、雑費のプラカード代はJVA負担分であったため返金され、2018年度一般会計に収入として計上されるとの説明があった。
  - ・事務局費の2017年度学連交通費について説明があり、承認された。
- ③ ミキプルーンスーパーカレッジバレー2017決算について
- ・ミキプルーンスーパーカレッジバレー2017について説明があった。又、これはJVAが最終決算書を出す為、決算書(案)として承認された。
  - ・今回DAZNの映像をJSPORTSに分岐した為、そのコストとして260万円が計上された。
- ④ 各学連・委員会提案事項
- ・各学連の学連登録番号について説明があった。
- ⑤ 2018年度役員一覧
- ・天野全日本学生委員長より挨拶があり、次年度の全日本学生委員長に日本体育大学3年太田尻紗也香を推薦し承認された。副委員長には、東北学連 鈴木伶奈・関西学連 野村周一朗が任命された。
  - ・運営理事に、並木 清三、森野 昇が任命された。
  - ・又、以下の役員が変更された。
 

【競技・登録】	糸岡 夕里	→	合田健太郎
【審判】	高橋 弘二	→	城 智人
- ⑥ 2018年度学生役員改選
- ・2018年度全日本大学バレーボール連盟学生理事(案)について説明があり、承認された。
  - ・2018年度全日本バレーボール連盟代議員名簿(案)について訂正され説明があった。
- ⑦ 2018年度事業計画
- ・2018年度全日本バレーボール連盟事業計画(案)が説明された。
  - ・女子強化委員会については男子強化委員会と同様、5月3日(木)に開催するとのことだった。
  - ・2018年度事業計画について各学連委員長から説明された。
- ⑧ 強化事業計画
- ・強化計画について各種説明された。
  - ・男子チームは第18回アジア競技大会と2018World Championship Tournamentの2大会においてシニアチームを2つ作り、大会に参加するとのことであった。
- ⑨ 2018年度全日本大学ビーチバレーボール男女選手権大会
- ・2018年度全日本大学ビーチバレーボール男女選手権大会について説明があった。
  - ・ビーチ世界選手権大会選考会について説明があった。尚、この大会では男女2チームずつ選出され、費用はJVAが負担するとのことであった。
- ⑩ 2018年度予算案
- ・2018年度各種予算書について説明があり、承認された。
  - ・全日本一般会計予算書(案)について今年度から全日本総会・代議員会費、諸会議費、強化合宿経費の項目が学連負担となった為、一昨年度の決算額を参考に予算を組んだとのことであった。
  - ・ビーチバレーボール・ジャパン・カレッジバレー2018予算書については一般会計助成金に頼っている所がある為、協会に支援してもらおうよう呼び掛けている。又、今回第30回大会になる為、記念Tシャツの作製など検討している。

⑪ 2017・2018年度全日本事業開催日程

- ・全日本学連主催試合・共催試合の開催地について説明があった。
- ・2020年の全日本ビーチはオリンピックの影響により開催が難しい為中止の可能性が高いと報告された。解決策として、開催地の変更や開催日程の変更などを検討している。

⑫ その他

1) 救急法基礎講習会実施のお知らせについて

- ・救急法基礎講習会実施のお知らせについて説明があった。
- ・正式な詳細は、今後ホームページに掲載する。

2) 2018年度バレーボール指導員資格取得講習会について

- ・2018年度バレーボール指導員資格取得講習会について説明があった。
- ・指導者資格の取得にあたり、注意事項が確認された。
- ・西日本の開催日時は開催会場の都合により先行される可能性がある為、当分は(案)とするとのことであった。

3) 全日本大学バレーボール連盟の規程(案)について

- ・全日本バレーボール連盟の規程(案)について説明があった。
- ・外国人国籍者について、登録用紙に記載することになった。
- ・ユニホーム規程について、選手ジャージ(シャツ)の背部に選手名・チームネームを表示しても良いとした。
- ・ユニホームの広告について、広告を使用する際は学連を通しJVAまで申請をすると説明があった。
- ・海外遠征及び海外チームと国内外合宿・試合等の内規について、必ず学連を通さないと認めないとした。
- ・全国競技委員会にて、国内競技に関して危機管理マニュアルを作成するよう促され、JVAが決定次第規程をつくらうとした。
- ・全日本インカレでの大田区総合体育館の使用について、準決勝・決勝と1面で試合を行う事とした。又、サブコートについては使用しないという方針であった。
- ・この規程については、4月1日に施行されることとした。

4) 新事業 全日本ビーチバレーボールU-23男女選手権優勝大会(案)について

- ・全日本ビーチバレーボールU-23男女選手権優勝大会について説明があった。
- ・この事業はJVAに申請中の為、申請が通れば実行に移す。

5) 日本版NCAA創設に向けた、学産官連携協議会について

- ・日本版NCAA創設について説明があった。
- ・日本版NCAAは平成30年度中の創設を目指しているとのことであった。

6) プレオリンピックについて

- ・プレオリンピックの開催、ボランティアについて説明があった。
- ・2019年7月23日(火)から2019年7月28日(日)にボランティアを含めビーチバレーのプレオリンピックを行うと検討している。
- ・インドアバレーは体育館新設の関係で、2020年4月21日(火)から2020年4月26日(日)にボランティアを含めプレオリンピックを行うことを検討している。
- ・関東に関しては春季リーグ戦、黒鷲旗も開催されている為、検討が必要とのことであった。

7) 指導普及による小学生・中学生バレーの大学生指導について

- ・指導普及による小学生・中学生バレーの大学生指導について説明がされた。
- ・JVAの指導普及の事業の一環に入れてもらえるよう検討している。
- ・小中学生の記念品として「ハイキュー」のファイルを無償提供してもらえるか、又、プログラム、全国的に使用できるか検討されているとのことであった。
- ・費用に関してもJVAとミズノに支援してもらえるか交渉中とのことであった。

8) 全日本バレーボール連盟の今後の方針について

- ・来年1月を目標に全日本大学バレーボール連盟の一般財団もしくは一般社団法人化を検討しているとの説明があり、その方向性が承認された。
- ・法人化推進室を新設し、法人化推進室長として滝澤維世嗣が推薦され、承認を得た。

以 上  
全日本大学バレーボール連盟